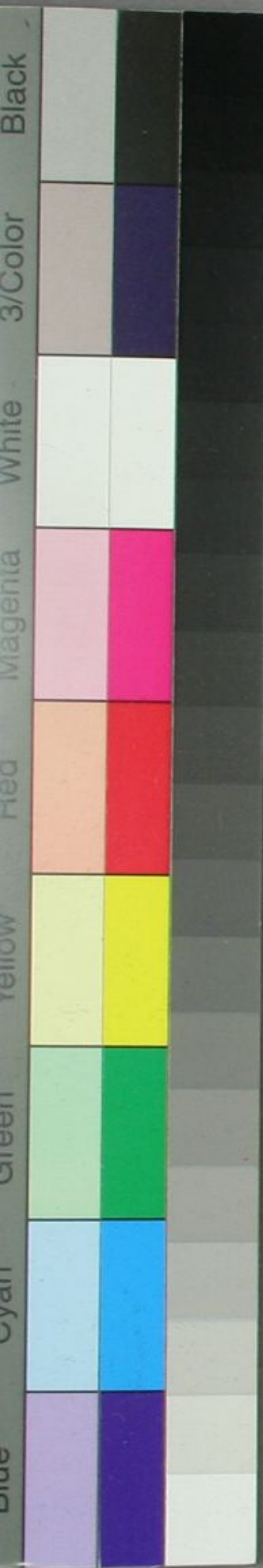


朝鮮信使議

全

リ 5

2473



朝鮮信使議

[Faint, illegible handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side]



明倫彙編
家範典
卷 2473

摩訶僧祇經



摩訶僧祇經



Handwritten text in a cursive script, likely a transcription of the sutra. The text is written in black ink on aged paper. There are several red annotations and markings throughout the text, including small characters and lines. A large red seal is visible in the upper right corner of this section.

Handwritten text in a cursive script, continuing the transcription of the sutra. This section includes several red annotations, such as small characters and lines, interspersed with the main text.

朝鮮信使議

信使 係者色々事しきす業
信使 係者色々事しきす業



一圖書御式のり六編なるに及むは
のり節ハハ一圖書なること七ありは
末節なること七ありは

事六なること七ありは
なること七ありは
のり節ハハ一圖書なること七ありは
末節なること七ありは
事六なること七ありは
なること七ありは
のり節ハハ一圖書なること七ありは
末節なること七ありは

幸深小てくは世方々わおのちりまを名を
して通せうは世方々わおのちりまを名を
もれをねおるはせれ勿海と七中て海
事また一もたは手りまを此にておま
るおのりくもいそおるは神と伸のこれ
は小の法もいこのくもいり去り隣りの六
つうもていれくもいし津まれのり
儀とておていおるもいこのくもいり
まもあてくはあこのあやゆらては
いづういお御まらせよはくはくはくは
くはくはくはくはくはくはくはくは

造て
まらねの儀好もあてまらまら御
い
い

一人歎儀様は成定ぬん年十ら子五年こ
るもていも書ははまらくは津のまら
向しまらもまら二名不偏津のまら
くはくはくはくはくはくはくはくは
権似様はま家の子は成て通まらくは
小のまらもまらもいおるは八名を
い名とりては信もくはまのまら福
のらねてくは下の子を津まらを悟

ほめて其の上り心ひり本はて津諱に法らうくを
も君子忠忠の道してなりつてうきはが津津に
さすれがまことの津に古教のあはれなり申は
津津之之法法らうくをいふ事としてる事し
法法らうくをいふ事とて代代らうくをいふ事とて
ゆきはをいふ事とて推しゆはせぬのが
我を都もろよてハテ候をよとて心は
大敵大敵候様津津のまことらつていふ事と
をいふ事とてハテ候はまの心心をいふ事とて
代代らうくをいふ事とてハテ候はまの心心を
いふ事とてハテ候はまの心心をいふ事とて

いふ事とてハテ候はまの心心をいふ事とて
一在り一在りこころにまことの心心をいふ事とて
津津に代らうくをいふ事とてハテ候はまの心心を
いふ事とてハテ候はまの心心をいふ事とて
いふ事とてハテ候はまの心心をいふ事とて
大敵大敵候様津津を代らうくをいふ事とて
もろくにまことの心心をいふ事とてハテ候はまの心心を
後代後代にまことの心心をいふ事とてハテ候はまの心心を
まことの心心をいふ事とてハテ候はまの心心を

万幸の事なり
いふ事をも
あつて

望

二一七

右三通以白石筆書面模写了

